

青空機械新聞

2026年3月

発行
第33号

業界ニュースとトレンド紹介

波乱の2026年…

2月末に始まったアメリカ・イスラエルによるイラン攻撃の影響は、遠く日本にも及び、ガソリン価格の急上昇など、暮らしや経済活動に影を落としております。先行きの不透明感が増す中、今後の動向を注視する必要があります。

一方で、今年に入り機械設備投資の動きは引き続き堅調に推移しております。

日本国内受注数字

日本工作機械工業会が発表した**2026年1月**の工作機械受注統計によると、国内需要(内需)は**326億円**となり、前年同月比**2.0%増**でした。前年を上回るのは3か月ぶりですが、伸びは小幅にとどまっています。前月比では**18.2%減**でした。

業種別では、自動車向けが約66億円で前年同月比**約10%増**となり、ハイブリッド車やエンジン関連部品向け設備投資が背景にあるとみられます。電気・精密機械向けも約52億円で**同約20%増**となり、半導体製造装置関連の需要が寄与しました。航空機・輸送機械向けも増加し、航空機関連の設備投資の回復がみられます。

一方、町工場など中小製造業の需要が多い金属製品分野は減少しました。国内需要は一部で回復の動きがみられるものの、全体としては慎重な設備投資が続いています。

発行元 会社概要

会社名：株式会社青空機械 (あおぞらきかい)

代表者：青木 佑典(あおき ゆうすけ)

主な事業内容：工作機械販売

住所：新潟県新潟市東区中山4-4-13-3

TEL：070-8303-6632

FAX：050-3588-8241

Email：aoki@bsmt.co.jp

EVから内燃・ハイブリッド車へ 米国機械受注の変化

米国AMTが発表した**2026年1月**の米国内の工作機械の新規受注額は**\$441.4 million**でした。前月比では**45.8%減**となりましたが、前年同月比では**24.4%増**と高い水準を維持しています。

受注台数は2024年7月以来の最低水準となり、12月から1月にかけては例年減少する傾向があるため、前月の高水準からの反動による一時的な調整とみられています。金額ベースでは1月としては2022年以来の高水準ですが、台数は2010年以来の低水準で、2008年金融危機後の落ち込みに近い水準となっています。

産業別では、自動車のトランスミッションやパワートレイン部品メーカー向けの受注が急増しました。1月の受注額は前月比で約3倍となり、2015年4月以来の高水準です。背景には、電気自動車(EV)中心



の生産から、内燃機関車やハイブリッド車向け設備投資へ回帰する動きがあるとみられています。また、医療機器や一般機械など他産業の受注は全体的に減少しましたが、季節要因や顧客業界構成の変化が影響しているとされています。

AMTは、自動化需要の拡大や産業構成の変化により、受注額は堅調ですが、台数は増加が限定的と指摘しています。個人消費や設備投資が引き続き安定すれば、今後数年間は米国の工作機械需要基盤も堅固に維持されると見込まれています。

(AMTレポートより)

2026年2月 米国自動車販売台数(新車)

2026年2月米国新車販売台数は前年同月比**1.9%減**の**119万9,308台**でした。

2月の米国自動車販売は、電気自動車(EV)購入に対する7,500ドルの連邦税控除終了や車両価格の上昇が需要を圧迫し、昨年10月以降5か月連続で前年同月比マイナスが続いています。

米国とイスラエルから攻撃を受けたイランはホルムズ海峡閉鎖に踏み切っており、今後紛争が長引けば、更なるガソリン価格の高騰や部品の供給にも影響を及ぼすことが懸念されております。

米国メーカーの2月販売は、GMが前年同月比**7.5%減**と昨年10月以降5か月連続のマイナスとなり、

フォードも**5.4%減**と苦戦しています。ステランティスは**5.2%増**で6カ月連続のプラスとなりました。

日本車の2月販売は、トヨタが前年同月比**3.4%増**で12カ月連続のプラスとなりました。本田は北西部を襲った寒波の影響を受けたが、前年同月比**1.1%増**となりました。日産は**3.0%減**、スバルは寒波の影響を引きずり**8.2%減**、マツダは**0.1%減**、関税の影響で在庫レベルが低い三菱は**16.6%減**でした。スバル、マツダともに7カ月連続の前年割れとなりました。

韓国車の2月販売は、1月に続き好調を維持し、現代自が**6.0%増**、起亜が**4.3%増**となり、いずれも2月としては過去最高を更新しました。両社ともに高いHV販売比率(現代自が**79%**、起亜が**53%**)を維持しています。

欧州車の2月販売は、アウディが**4.5%増**、メルセデスベンツが**2.0%増**、BMWが**1.4%増**、VWが**14.8%減**、ボルボが**27.2%減**でした。
(マークラインズより)

新製品情報「ちょうどいいCNC旋盤、AT-1。」

高松機械工業(石川県)は、新型CNC旋盤 **AT-1** を発売いたしました。本機は導入しやすい価格帯と使いやすさを重視して開発されたコンパクトなCNC旋盤で、中小企業やこれまで旋盤を保有していなかった企業にもご提案できるモデルでございます。主な特徴は、加工条件の違いに柔軟に対応できる点でございます。従来は、荒加工で切削量を重視する場合と高精度加工を行う場合で機械を使い分けるケースもございましたが、**AT-1**では一台で幅広い加工に対応できる点が大きなメリットでございます。

操作面では、従来の**8.4インチ**から拡大した**15インチ**の大型タッチパネルを採用し、視認性と操作性を向上させました。操作キーは画面内のソフトウェアキーボードで構成されており、フリックやスワイプなどスマートフォンのような感覚で直感的に操作可能でございます。

また、メンテナンス性向上のため三菱電機製バッテリーレスサーボモータを採用いたしました。従来は原点位置保持のためバッテリーが必要でしたが、これが不要となり、長期休暇後に機械が原点位置を失うといったトラブルの心配がなくなります。



最大加工径：Ø310mm

最大加工長：300mm

最大棒材径：Ø42mm

チャクサイズ：コレット、6 or 8インチ

主軸回転速度：Max. 4,500min⁻¹

刃物台形状：8角タレット

最大移動量：テール無 X175/Z330mm

テール有 X160/Z330mm

機械購入の資金調達方法のアドバイスもさせていただきます！！

機械、工場内設備に関してご質問等がございましたら、お気軽に当社までお問合せください。

TEL : 070-8303-6632

FAX : 050-3588-8241

E-mail : aoki@bsmt.co.jp

青空機械

検索

また、新規の機械購入以外にも既存設備のアフターメンテナンスについてもお手伝いをさせていただきます。

例)今は存在しないメーカーの機械修理、現在の窓口商社を変えたい等々。

まずはお気軽にご連絡ください！！

青木社長の略歴

1986年6月生まれ(満39歳)

2009年 (株)兼松KGK 入社

2010年

↓

同社新潟営業所勤務

2016年

2016年 日鉄物産マテックス(株) 入社

2017年

↓

日鉄物産(株) 米国法人出向

2020年

2021年 ユアサ商事(株) 入社

↓

同社新潟支店勤務

2024年

2024年 (株)青空機械 設立